

そよげ風

山口市立小郡小学校学校だより

平成25年度No.10（通算50号）

平成26年1月24日

卒業式の歌によせて

校長 藤田辰夫

「旅立ちの日に」という歌があります。昨年の小郡中学校の卒業式でも歌われていました。この曲は秩父市立影森中学校で作られた合唱曲で、作詞は当時の小嶋登校長、作曲は音楽の坂本浩美(現高橋)教諭。小嶋校長は、荒れていた学校を立て直すために、「歌声の響く学校」を目指し、合唱の機会を増やしました。最初こそ生徒は抵抗しましたが、歌う楽しさによって学校は明るくなりました。

坂本教諭は、その3年目の集大成として、「卒業する生徒たちのために、何か記念になるものを残したい。」との思いから、作詞を小嶋校長へ依頼しましたが、「私にはそんなセンスはないから」と断られたといいますが、翌日、坂本のデスクに書き上げられた詞が置いてあったといえます。その詞を見た坂本は、なんて素敵な言葉が散りばめられているんだと感激して、「メロディーが天から舞い降りてきた。」と、わずか15分で曲を作り上げたと話しています。

出来上がった曲は、最初はたった一度きり、「3年生を送る会」で教職員たちから卒業生に向けて歌うためのサプライズ曲のはずでしたが、その曲のよさに、翌年からは生徒たちも歌うようになりました。

しばらくは影森中学校だけの合唱曲でしたが、まわりの小中学校でも使われだし、その後、音楽教育雑誌に楽譜が掲載されたことで、全国の学校で歌われるようになりました。また、教科書出版の2社いずれの教科書にも掲載されています。

あるテレビ局が調査した「卒業式に歌う歌は」によれば、「仰げば尊し」、「大地讃頌」、「蛍の光」、「巣立ちの歌」、「贈る言葉」などに代わり「旅立ちの日に」が、今、最も広く歌われているという調査結果がでました。全国の約6割の学校で歌われているということです。

たった1校の中学校での取り組みで生まれた曲が、ここまでの共感を呼んだのです。心に響く、感性を育む教育の大切さを物語っています。

6年生租税教室

6年生は、1月21日（火）に納税貯蓄組合の西村さんをお迎えし、租税教室を行いました。税金について、税金の使われ方、納税者としての心構え等を学ぶためです。

始めに、税金がない世界はどのようになるかをアニメで観ました。警察や消防、ゴミ収集事業が民間企業となり費用が受益者負担となっていました。道路などの公共施設が荒廃した世界となっていました。このアニメで税金のつかわれかたがよく分かりました。次に税金の種類について学びました。税金はみんなで49種類あるそうです。子どもでも、お年玉や小遣いを貯金している人は、「利子所得税」を払っていることが分かりました。

最後に、税金の使いみちの決め方、国や県の予算についてを学び、レプリカの1億円紙幣の束を見て驚いていました。

<6年生の感想>

- ・ 私はビデオを見る前、「『税金』って言葉は知っているけど、私と税金にかかわりはあるのかな？」と、思っていました。しかし、ビデオを見ると、公園、信号など、身のまわりのものにも税金が使われて、私たちの生活に大きくかかわっているんだとわかりました。
- ・ 税金が49種類もあることにおどろいた。ぼくは、税金と言ったら「消費税」か「所得税」しか分からなかったからです。しかも、「所得税」もつい最近知ったぼくにとっては、税金が49種類あることはおどろきました。それに自分も知らない所で「利子所得税」という税金を納めていることにもおどろきました。
- ・ 正しい税金の使い方ができているかなど、政治に関心をもつことも大切だと思いました。



大学生が学習の支援(ボランティア)に来ています

将来教員をめざす、山口大学と山口学芸大学の学生が、5人小郡小学校へ学習の支援に来ています。中には、4月より教壇に立つことが決まっている4年生の学生が2名います。1年生の学生もいます。『大学の4年間で随分と成長し、しっかりするんだな。』と教職員は感想を話しています。

理科支援の学生は、実験の準備や後片付け、実験の手伝い、学習の支援をしています。学習支援の学生は、授業中に困っている児童の相談にのったり、手助けをしたりしています。大学の授業の合間に駆けつけてくれる学生のおかげで、児童も教職員も助かっています。

教職員は、近い将来一緒に教壇に立つことができるように、学生に大切なこと（マインド）を伝えたいと思っています。



人権教育参観日・人権教育講演会

本校の人権教育目標は、「明るい学級づくりを通して、児童一人ひとりが確かな人権意識を身につけ、互いに協力しながら問題を解決していこうとする実践力を育てる。」です。人権意識を高めるための道徳の授業を中心とした人権教育参観日を1月16日（木）に実施しました。多くの保護者の方の参観がありました。感想を紹介します。

<保護者の感想>

- 子ども達に分かりやすい、いかにも怖そうで嫌われやすいおおかみと他の動物達とのやりとり・・・怖そうなおおかみも、接する態度や言葉で他の動物達へのイメージも変化していく様子を子ども達がどのように受け止めたかを聞くことができました。人権教育と言われると、ちょっと難しく感じてしまいましたが、今後子ども達にわかりやすい内容での授業で人としての道徳を学んでほしいと思います。もちろん家庭のなかでも話し合う機会を持てればと思います。
- 命の大切さやご先祖様、家族、友達を大切に思っている事を知り、うれしく思いました。大人の私達が忘れていた事を改めて再認識させて頂きありがとうございました。
- 命の重みの勉強で言葉は難しい響がありますが、4年生の子ども達は、それぞれに理解できていたように思いました。自分達のクレヨンに「はだいろ」と書いてあったのに、子どもの道具箱には「うすだいたい」と書いてあって、「あっ」と思ったのを思い出しました。地球人には、白・黒・茶・黄など、肌の色は様々で、差別や思い込みをしないで生きていかなければいけないなど、親の私も考えさせられました。
- 相手の気持ちを考えて話すことは、大人でも難しいことだと思いました。日ごろから言っただけではいけないと思っても言葉にしていることは、子ども達はよく分かっていて、苦笑いしていました。言ってしまうと、「ごめんね」と言える人になってもらいたいです。謙虚な気持ちで、感謝を忘れない大人になってほしいと思いました。

人権教育講演会

山口短期大学非常勤講師

山崎 凱 千 先生

元山口芸術短期大学講師

山崎 喜久子 先生 ご夫妻による

「思いやりの心・みずぐを歌う」という演題でご講演いただきました。

ピアノの弾き語り、フルート演奏、お話ありの楽しい講演でした。

相手の立場に立って考え、

『認めること、存在を認めること、容認すること』

『ほめること、肯定すること』

『たよりにすること、共感すること』が大切といったお話もありました。

<保護者の感想>

- 人権教育講演会では、明るく、ユーモアと音楽で夫婦そろって的確に講演され時間を忘れ聞き入った素晴らしいものでした。聞く人が少なくせつかく企画していただいたのに残念でした。

子どもたちのがんばりが実を結んでいます

第66回 山口県学校美術展覧会

平面の部 入選 4年 原田 雅士
4年 守永 皓一
立体の部 入選 5年 伊藤 嵩浩



小郡小学校吹奏楽部

#

スプリングコンサートのお知らせ
3月2日(日)

13:30~15:30

ご来場を
お待ちしております!



小郡小学校体育館

<入場無料>

演奏曲目 「あまちゃんのテーマ」「美女と野獣」など

賛助出演 上郷小学校吹奏楽部
小郡中学校吹奏楽部



2・3・4月の行事予定

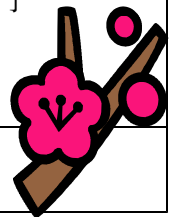
2月

- 3日(月) 代表委員会
- 4日(火) 全校朝会
- 5日(水) 学友区児童会
- 7日(金) 小郡中進学説明会
- 17日(月) 委員会活動
- 20日(木) 入学児童就学説明会(午前)
- 24日(月) クラブ活動
- 25日(火) 参観日 学級懇談
小郡地区小中合同学校運営
協議会

3月

- 2日(日) スプリングコンサート
(吹奏楽部)
- 4日(火) 学校運営協議会
- 18日(火) 6年生給食終了
- 19日(水) 卒業証書授与式(4~6年)
家庭学習日(1~3年)
- 24日(月) 小郡中学校仮入学
- 25日(火) 5年生以下給食終了
- 26日(水) 修了式
- 31日(月) お別れ式

4月 8日(火) 始業式、入学式準備 9日(水) 入学式



※予定ですから変更の可能性もあります。